

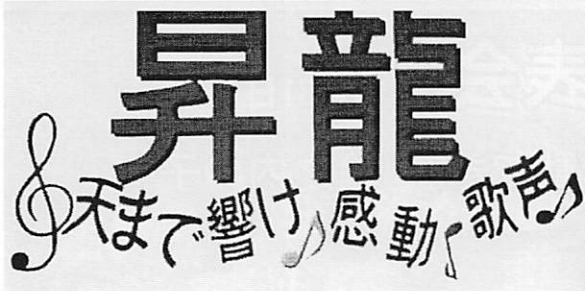


編集発行
 安八郡輪之内中学校
 P T A 会報委員会
 題字 山田 義雄
 印刷 (株)ダイキュー



音楽祭

平成12年11月18日



音楽祭、私の感想

中島 勝

今年も音楽祭に出席させていただきました。ありがたいと感じました。みなさんの音楽祭も、文化会館の使用や、プロのオーケストラとの共演ということで、レベルアップが図られてきました。それだけに関心も高く、親さんの参観も多かったようです。さて、みなさんは四月以降、『美しさ、勢い、歌声のみなぎる学校』をめざし、取り組んできました。歌声も折々、教育委員会にも響いてきました。みなさんのやる気が強く感じられました。

二学期に入り、体育祭、個性化の公表会と行事が重なりました。練習も大変だったと思います。それだけに、みなさんが困難をどう克服してくれるのか楽しみでした。

では、本番の出来栄はどうだったでしょうか。私の率直な感想は、伝統は守られていたが、気になる点もあったということです。私語をしないなどは、基本の基本です。残念でした。

今後、みなさんの努力で改善され、一層美しい歌声がみなぎることを心から願っています。

全校の心を一つに

生徒会長 浅野 恵理

今回は、合唱祭からさらなるステップを目指す為、音楽祭という行事に改名されました。スローガンは、

『昇龍く天まで響け！ 感動・歌声』でした。私たちは四月から様々な行事を行ってきて、つちかわれた努力を、地上だけではなく、天までそして、学校中、輪之内中に美しい歌声を響かせたいとこのスローガンに決めました。今年は全校合唱にも取り組んできました。多くの時間は得られませんでした。当日はオーケストラとの共演があり、一生懸命練習しました。このような伝統をこれからも行って欲しいです。



先につながるものとして

二年生代表 尾崎 莉菜

私が指揮者に立候補したのは去年の三年生の先輩達が「友よ北の空へ」を歌っていたのがとても感動的だったからです。

私達二年生は、音楽祭に向けて意識を高め、緊張感をもたせるために「八時十五分整列キャンペーン」を行いました。合唱リーダーを中心に練習に取り組み、音楽祭本番では、オーケストラとの共演により、すばらしい演奏をすることができました。私達はかなりの自信をつけることができ、先につながる財産を得ることができました。これから三年生に向けて、最上級生として、後輩に引き継いでいける合唱をつくり上げたいです。



個性化教育公表会

10月31日

ふるさとを愛し 生き生きと活動できる 輪之内の子

人は誰かに支えられ

大橋 広美

『老人介護施設』と聞いてあなたはどんなことを想像しますか。介助とは譲り支えること、リハビリは訓練することでは私はこの時介助というイメージの方がありました。身体のことを考慮し、介助とリハビリとの境でのヘルパーさんの姿に憧れました。総合では車イス体験もしました。幼い頃から足の不自由な祖父がいた私にとつての車イスの操縦は簡単でした。そんな話を何気なしにした時、「軽くいわないで」と母にいわれ痛感しました。何分の一の理解で、人間として欠ける部分があったことを。

二分の一理解し、将来の夢として扉を開けていきたいです。



バスケットボール部(男子)

部長 森島 幸久



練習時間が少ないが、基礎練習をしっかりとやり、一勝につながりやすいチーム作りをしたいです。

バスケットボール部(女子)

部長 川瀬織里円

部長としてしっかり練習に励みバスケの仲間と声をかけあつてうまくなっていきたいです。

部

バレーボール部(男子)

部長 河合 秀将

男子バレー部は、何度もあきらめずに、つなげられるバレーをしたいです。

バレーボール部(女子)

部長 棚橋ゆかり



技術の向上をめざし、十三人の部員と毎日の練習を大切にして、がんばっていききたいです。

テニス部(男子)



部長 小塚誠一郎

今とはとにかく来年へむけての気持ちの向上と体づくりをして、最高の部活をつくり上げたい。

テニス部(女子)

部長 森島 由季

大会にむけて全員参加で、大会に向けて、一生懸命練習していきたいです。

活 紹

卓球部(男子)

部長 浅野 泰弘

今、部活の練習に全然こない人がいるので、全員が練習に参加するようにしたいです。

卓球部(女子)

部長 浅野知恵美



みんながつよくなれるように全員参加！猛練習！

剣道部



部長 渋谷 有紀

部活に毎日参加して、中体連で団体戦、個人戦で優勝旗を取っていききたいです。

介

野球部

部長 近藤 政芳



ぼくたちは、冬のハードなトレーニングの切り、来年の中学生連では必ず勝ちます。

プラスバンド部

部長 小寺ひとみ



十二月にコンクールを控えています。毎日のTUTTIを生かしてがんばります。



文化部・ESS部

部長 毛利 静



冬に備えマフラーなど編み物を作り、料理ではクレープ、サンドイッチなどを作りたいです。

部活参観の感想

篠田 暢子

汗をかき息を切らしがんばる姿。技・忍耐・礼儀、部活で磨くことは多いです。中学生生活の一齣を参観できました。

部活参観の感想

大橋百合子

精一杯声をだし、一生懸命走っていた姿に感動しました。目標に向かってがんばってほしいと思います。

光る汗

浅野 則雄



桐山先生のご指導の下、パス、ドリブルにと練習に一生懸命な姿と額に光る汗を見たとき、心にジーンと感ずるものを覚えた。



登下校指導



朝の登校指導から

教頭 西松 敏夫

十一月二十日から、二週間にわたり、全職員で登校指導をしてきました。多くの先生から声をかけられる中で、少しずつ変化がでてきました。荷台にカバンをくくりつける子も増えてきました。

「よくなったよ」

声をかけられ、にっこりする姿に登校指導の成果がでています。

しかし、この頃寒くなつてきて、遅刻あるいは遅刻寸前の生徒も多くなっています。余裕を持って登校できるよう、ご家庭のご支援もお願いします。

規則、交通ルールはなぜあるのか？ 今一度考えてみて下さい。

安全委員会 竹田 千鶴

先日、登下校指導を行ったところ、ヘルメットをかぶらない、二人乗りをする、並進、あげくの果てには車が来ても知らぬ顔と、規則を守らない姿や交通マナーの悪さが目を引きました。大変残念でした。が、一声かけることで思い直し素直に従ってくれる子達がほとんどでした。このような姿を見て、私達大人は積極的に言葉をかけ合い、子供達には、規則や、交通ルールの持つ意味をもう一度考えてほしいと心から願います。事故が起こつてからでは遅いのです。

ポップコーンづくり

三年 安田 萌

十一月十八日、福東小学校で校区文化祭が行われました。私たち中学生は、バザーでポップコーンを作ることにしました。当日、ポップコーンを二百数個つくらなければならなかった私たちは、朝早くから準備にとりかかりました。しかし、なかなか作るのに時間がかかって、バザーの時間になつても数がいなくて、すごく大変だったけれど、それ以上に楽しかったし、みんなと一つのをやりとげるすばらしさがわかったので、とてもよかつたと思います。

校区文化祭に参加して

早野 史子

「いらつしやいませ。ポップコーン、いくつですか。」
青空のもと、今年度初めて男子三人、女子六人の中学三年生が福東校区文化祭に参加することとなりました。
朝早くからの準備には、手際よく分担して進めることができました。製造に間に合わなくて「すみません、お待ち下さい。」と、一声かける姿。生き生きと接客する姿がとても頼もしく思いました。地域の方の励ましもあり、よい体験をすることができました。

福東校区文化祭



資源回収を終えて

本部役員 浅野 仁美



十一月四日、第二回資源回収を行いました。今回は非常に沢山の量の資源回収となり、役場の駐車場にどんどん山積みされる古新聞を見つめながら思わず溜息が出てしまいました。回収作業は生徒達が一生懸命に手伝ってくれていましたが時間がかかりました。ただ、地区委員さんの中で、搬入が終わり次第帰ってしまった方と、最後まで残り作業を手伝って行かれる方があり、依頼する作業内容の徹底が必要と感じました。皆さんの御協力に感謝します。
収益金五五、三六〇円でした。ありがとうございました。
次回も御協力をお願いします。